

バス駐車場整備方針

民族共生象徴空間の開設に伴い、施設内に整備される普通乗用車用駐車場のほかに観光バス等の駐車場を白老町が整備する。

1 観光バス等駐車場必要台数の算定

象徴空間への年間来場者数を100万人と想定し、観光バス等の必要駐車台数を推計した。

項目	値	説明
①年間来場者数	100万人	象徴空間への年間来場者数
②年間営業日数	357日	年末年始のみの休みを想定
③1日あたりの来場者数	2,800人	①÷②
④バス分担率	80%	交通手段別分担率より設定
⑤平均乗車人数	30人/台	バス1台あたりに乗車する人数
⑥駐車場必要台数	75台	(③×④)÷⑤

2 観光バス等駐車場整備方針

駐車場必要台数の算定により観光バス等駐車場（2か所）を2020年までに整備する。

名称	整備位置	整備内容	台数
第1駐車場 (5,530 m ²)	若草町2丁目611番8 ほか(旧アイヌ民族博物館駐車場)	旧アイヌ民族博物館駐車場を活用し、アスファルトの打ち替え等バス駐車場としてリニューアルする。	約45台
第2駐車場 (6,030 m ²)	末広町2丁目622番 1131(町有地)	臨時駐車場として位置づけ、砂利敷きとする。	約40台

3 整備スケジュール

2018年度：調査・設計

2019年度：整備工事

2020年度：供用開始